

見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話 / Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和 7 年 5 月 21 日 NO.2

刈谷田川と重遠橋

「新たな教師の学びの姿」を実現する

見附市教育長 渡邊茂夫



「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、全国教員研修プラットフォーム（Plant）を活用した◆研修受講履歴記録の作成、◆研修受講履歴を手がかりとした資質向上のための対話と奨励が制度化され、このシステムの運用が始まって一年が経ちました。

研修履歴の記録により、受けてきた研修の履歴が可視化され、無意識のうちに蓄積されてきた自らの学びを客観視した上で、さらに伸ばしていきたい分野・領域や新たに能力開発したい分野・領域を見出すことができ、主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることを期待されています。

令和 6 年度におけるご自身の研修履歴から作成されたチャートシートは、どのような形だったでしょう。願う力量形成につながる研修ができたでしょうか。

研修を進めるにあたっては自校の管理職と対話を繰り返す中で、自らの研修ニーズと自分の強みや今後伸ばすべき力、学校で果たすべき役割等を踏まえながら、自分に必要な学びを主体的に行っていくことが基本です。

Plant に記録する研修履歴の範囲は、①必須記録研修等と、②その他任命権者が必要と認めるものに含まれ得る研修等があります。①には県教育委員会が実施する研修等が該当します。②には職務研修として市町村教育委員会が実施する研修等や校長が記録の対象となると判断した一定の校内研修・研究等が該当します。県教育委員会の研修は、教職員研修計画の研修一覧に位置付けられた研修を Plant から申し込みますのでそのまま記録されますが、見附市独自の「4時から夢塾」や「師がく」、教育センター科学教育部の各種研修会も Plant に記録できる研修です。

見附市民に対してサービスの宣誓をする見附市の教職員は、見附市で目指す「ふるさと見附を愛する子ども」「世に役立つことを喜びとする子ども」を育成する責任を負っています。その実現を応援するのが見附市の研修です。見附市では皆さんの「こんなことを学びたい」に応えられる研修を準備しています。対話と奨励により、「4時から夢塾」「師がく」等への積極的な参加と主体的な取組を期待しています。見附市で目指す子どもの育成につながる力量の形成に活用してください。

巻頭写真に寄せて「重遠橋」を知っていますか？

◇見附市の史跡や施設、季節を感じられる市内の風景等を巻頭写真に載せ、紹介文をこの「巻頭写真に寄せて」に書いています。

それは、見附市は素晴らしい施設や美しい風景等が多くあり、見附市に勤務する教職員には、子どもたちが生活する場所を熟知して、日々の教育活動を行ってほしいとの願いがあるからです。

◇長岡市方面から通勤している皆さんは、国道8号線を利用する。

東山丘陵沿いの長岡見附三条線を利用する。その中ほどの新組方面から葛巻町に向かう七軒町見附線を利用するという人もいるでしょう。この道路で、刈谷田川に架かる橋が「重遠(じゅうえん)橋」です。この橋のことを、ブログに書いている人がいました。読みから「十円橋」と思っていたとか、橋が架かる前の渡し舟賃が十円だったと、嘘の歴史を想像していた等の文章を読み、「なるほどなあ」と思っていました。

◇見附市史によると、この橋はもともと傍所町(村)の大庄屋渋谷家私用の橋として架けられたもので、渋谷家以外の人を通る時は橋銭が必要だったとのこと。橋の名「重遠」は論語から取ったそうですが、渋谷家当主の名を取ったという説もあるそうです。

◇さて、橋をじっくり見て頂きたいです。トラスといわれる三角形の集合体の橋です。トラス橋は変形しにくく材料の強度を最大限に活用できる工法の橋ですが、何といても格好いいです。(5P参照「科学の公園」に、榎田宏治先生作成の「トラス橋」の写真あり)

◇最近、なかなかこの工法の橋を見かけなくなりましたが、阿賀野川下流域に架かる橋が長く立派なものがいくつもあります。一番長いものは羽越本線の阿賀野川橋梁で、泰平橋や松浜橋も大変に長い橋です。重遠橋は、長さではこれらの橋には及びませんが、大変立派で、私は見附市のシンボル橋だと思います。皆さんも通ってほしいものです。



コラム 「色眼鏡」で見えていませんか

◇今春、異動した教員から次のような話を聞いた。3月末に新任校から引き継ぎに来てほしいと言われた。管理職や養護教諭、事務職員等は引き継ぎを行うが、学級担任をやってきて、これまで言われたことがなかった。指定研究校等になったので、研究主任をお願いされるのかと思って出かけた。ところが長時間の引き継ぎは「難しい学級の担任をお願いされ、一人ずつ子どもの説明をされた」と言うのである。この学校の校長先生は、情報を集めて「新任者の中で、この人しかいない」とお願いをしたのであろうか…。

◇さて、表題の「色眼鏡で見る」は私が学級担任の時に学んだ有田和正先生(当時：筑波大学附属小学校)の言葉である。子どもたちはこれまでの学びで、物事を固定観念(色眼鏡)で見る。そんな子どもたちに「なぜだろう?」「はてな?」の教材を与えて、『追究の鬼』を育てる実践をされた先生であるが、決めつけて物事を見てはいけない(色眼鏡で見てはいけない)を私たちにも教えてくれた。また、有田先生は「子どもは学級の力で育つ」「良い学級は授業を通してつくる」ことも常に教えてくれた。

◇上述の学校は、「困っている学級を何とかしたい」の思いで、現状を引き継いだのであろうが、担任の力は間違いなく大きい。校長がリーダーシップを発揮し、全職員で対応しなければ上手くいかない。5月12日に開催した「4時から夢塾」(講座内容は3Pに掲載)で、講師の川崎智也先生は『Q Uを活用した学級経営』で「授業づくりと学級づくりの一体化」そして「全職員で語り合う(相談すること)の大切さ」を教えてくれた。(こ)

イングリッシュガーデン



4時から夢塾

「学級経営とQ U活用」

第1回を5月12日(月)に、今町小学校の川崎智也先生から『学級経営』をテーマに指導を頂いた。具体的には、子ども理解は教師の観察だけでは気付けない部分がある。観察と子どもの実態のズレを補うために「Q Uを活用した学級経営」の手法を教えて頂いた。指導の内容を簡単に記す。



川崎 智也 先生

1 学級経営について ～ 学級経営って具体的に何をするの? ～

- ①全員とビジョンを共有 ②ビジョンを達成するための仕組みをつくる ③モチベート

○人生100年時代…予測困難な未来を生きていく子どもたち

→身に付けさせたい資質・能力は「問い」を見つける力

⇒正解のない問いに、自分なりの答えを見いだす子ども

○学級づくりの基本サイクル…①前提(ビジョン・方法論の確認)⇒②実態

把握、計画⇒③遂行実践⇒④2,3ヶ月毎に再び②のアセスメント(Q-U調査)



2 Q-U調査 ～ 子どもたちの学校生活での満足度と意欲、学級集団状態を調べる質問紙+ソーシャルスキル ～

○Q-U調査を支える3要素

- ① ルールの定着…集団内に共有された規範意識、行動様式がある
- ② リレーシヨンの確立…互いに構えのない、本音の感情交流がある
- ③ フォロワーシップ学級のため、自分ができることに能動的に取り組む

○Q-U調査を活用した学級づくり…授業づくりと学級づくりの一体化

- ・互いの個性や違いを認め合い、心理的安全のある学級(親和的なまとまり)
- ・自分の目標やみんなの目標に向かって、建設的に支え合う学級



2 Q-U調査の活用について ～チームで学級づくりを行う! 担任を評価するものではない!～

- ・経験、感覚の違いを生まない
- ・Q-U調査が子ども理解の指標となる
- ・みんなで考える



<参加者の声> ・「学級経営って何?」と問われ、「経営だよなあ」と、はっとした。自分が何かするというよりも、子どもたちがどういう子で、どう伸びていくかをイメージし、そうなるように何ができるかを考える。それって、教師として有意義でやりがいのあることだと思った。

- ・一つのデータを基に、若手もベテランも語り合うところにQUの意味があると思った。QUが人をつなぐ道具となるよう、「活用の仕方が大切だ」ということを、心において実施したい。
- ・QUは健康診断と同じ。調子を再確認したり、見えていないものが見えてくるのが分かった。
- ・学級経営のポイント(①ビジョンの共有、②仕組みづくり、③モチベート)が大変参考になった。特に①が大切になると思う。それを分かり易い言葉で表現できるようにしたい。QUを1回で終わりにせず、定期的に実施。具体的な方策の検討と実施。振り返りのサイクルが大切と感じた。
- ・QUの活用法も「明日から担任が元気になれるもの」との捉え方が、とても心強く、子どもをみんなで知ることができるツールとして、今後も活用することが楽しみになった。
- ・学級の状態を数値で分析すること。それを基にして、みんなで相談することの大切さを学んだ。

科学教育部



【5・6月の研修案内】

5月9日単元別研修会
「人や動物の体」の様子

1	【植物観察会】 講師：五百川 裕 様 (上教大教授)	5月28日(水) 15:10～16:40 会場：市民の森	校外の活動で活用できる「市民の森」で、植物観察会を行います。散策して里山の植物を観察します。植物の魅力を感じることができる研修会です。小学校はもちろん、中学校でも生物の分類の単元等で活用が期待できます。
2	【第2回理科主任会】	5月29日(木) 15:30～16:40 会場：見附市役所 4階 大会議室	第2部では、県立教育センター指導主事の長谷一弘様をお招きし、理科学習の充実に向けた「授業改善」についての研修を行います。
3	単元別研修会 【中3 生物の成長・生殖】	6月 6日(金) 15:40～16:40	花粉管や体細胞分裂の観察のポイントや、身近なもの ICT を活用した指導について研修します。
4	【天体観測会】	6月20日(金) 19:00～20:00 ※ 雨天の場合は中止	天体に関する実習を行った後、教育センターの屋上で、実際に天体望遠鏡を使って観測します。
5	単元別研修会 【小3 こん虫を調べよう】	6月27日(金) 15:40～16:40	こん虫のからだのつくりと観察のポイントを研修した後、こん虫の模型や標本を作製します。

※研修会の申込については終了していますが、新たな参加希望も大歓迎です。希望がありましたら見附市教育センター科学教育部まで電話またはメールで申し込みをしてください。

季節を感じる生物



ジシバリ



ムラサキツユクサ



サツキ



キジ



暖かくない活発に働くクロヤマアリ

科学の公園

メダカの飼育～たくさん産卵してください～

第1回理科主任会で、希望した学校にヒメダカの配付を行いました。順調に育っているでしょうか。主に小学校5年生の単元「魚のたんじょう」でヒメダカは活躍します。毎年、何件か以下のような問い合わせがあります。

「水槽の水が汚れてしまうのです。」 「どうやったら産卵しますか。」

5年生の担当になると、初めてメダカを管理するという方もいるかもしれません。なかなか経験がないと生き物の飼育は難しいものがあります。いくつかポイントを紹介します。

◎メダカ飼育のポイント

【①水質を悪化させないために】

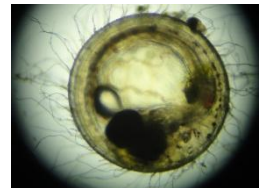
メダカの排せつ物や食べ残して水質が悪化します。水質が悪化すると、メダカのストレスになります。まずは適正な数の飼育ができることが大切です。およそ1Lに1匹程度が適正です。水換えも重要ですが、頻繁に水換えをすると有用なバクテリアが繁殖しません。多くても1週間に1回程度で3分の1交換するくらいで十分です。うまくいけば、ほとんど水換えはしなくてもよくなります。ただし、どちらの場合も汲み置きの水を使いましょう。また、バクテリアを繁殖させやすくするために水槽の底に赤玉土や砂利とろ過装置を入れると良いです。



教育センターの水槽です。砂利とろ過装置で水質を整えています。

【②産卵してもらうために】

メダカは日照時間が12時間以上、水温が20～30℃程度になると産卵の条件が整います。産卵のためにはエサの量を増やすと産卵しやすくなります。ただし、様子を見て量を調整しないと水質悪化の原因になるので注意が必要です。市販の産卵用の栄養豊富なエサやミジンコをあげると産卵率が上がります。



採取した卵を顕微鏡で観察。血液の流れる様子がわかります。

パフォーマンス課題の実践～学習内容を活用する課題のススメ～

【単元：中学校第3学年 運動とエネルギー 第1章 力のつりあい ～力の合成・分解～】

小単元の流れとして、「一直線上の力の合成」「一直線上にない2力の合成・分解」について学んだ後に以下のパフォーマンス課題を実施しました。

パフォーマンス課題 おもりをのせても壊れにくい橋の形はどのような形だろうか。

また、壊れにくい理由を力の合成や力の分解を使って説明しよう。

生徒は、12本の Pasta とグルーガンを使って、おもりをのせても壊れにくい Pasta 橋を作りました。Pasta を折ったり、組み合わせたりすることで、合力や分力を考えながら、トラス橋や吊り橋のような形の Pasta 橋を作成しました。最も重い重量に耐えたグループは 500g のおもりに耐えました。理由についても、以下のように答えていました。

「三角形のトラス構造にしたら力の分解が起きて、1本にかかる分力が小さくなったから 500g まで耐えられた。」

「V の構造を入れて力の分解を使ったら、それぞれの Pasta にかかる力が小さくなるのがわかった。橋がなぜ三角形やアーチをしているのかがわかった。」

